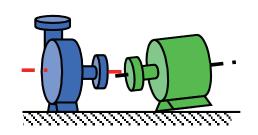
ミスアライメントの診断と整備

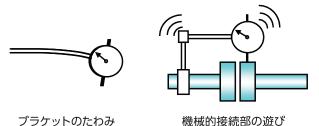
当社では、メンテナンス事業の基盤確立と拡大に向けて、設備診断(技術)と施工ノウハウ (技能)をパッケージ化したメンテナンス商品開発を進めています。 本商品は、当社解析技術によるミスアライメントの診断から、最新のレーザ式 心出しシステム(TLV)を用いた効率的な心出し整備までを提供いたします。

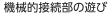
心出し整備について

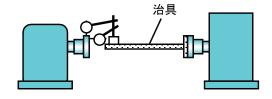
従来の心出し整備は、主にダイヤルゲージを用いて行われていますが、 この従来の方法では、次のような問題点があります。

- ●修正には経験が必要
- ●個人の技量・技能により心出し精度がばらつく
- ●中間軸がある場合などには、治具の製作が必要となる
- ●精度が確保しにくい









※治具使用による方法(治具のたわみが大きい)

レーザ式心出しシステムによる心出し作業

レーザ式心出しシステムによる心出し作業は、

- ◆レーザによる正確な計測機能、距離や人による誤差がない (分解能: 1 μm、精度: 2%未満、最大測定距離: 10 m)
- ◆心出し状態と修正量がその場で確認できる
- ◆簡単操作で精度の良い心出しができ、時間短縮ができる
- ◆経験や勘といった熟練を必要としない
- ◆作業記録もコンピューターで処理できる

など、心出し作業の効率の大幅な改善と合理化を実現できます。



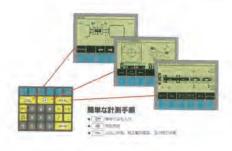
レーザ式心出しシステムの操作方法

従来のダイヤルゲージ式より、精度が高く、簡単に計測できます。

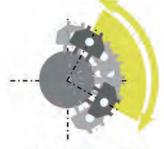
• 簡単な計測手順:機械寸法入力、計測、結果表示の3ステップ

素 早 い 計 測: どの位置からでも90 度以上回せば OK

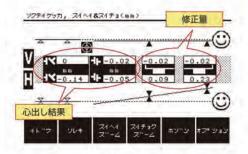
• わかりやすい結果表示: 結果と修正量などが一括で表示されるので、わかりやすい



3ステップの計測手順



90 度以上まわせば OK



わかりやすい結果と修正量表示

レーザ式心出しのメリット

作業効率の改善:簡単な計測手順や結果および修正量の一括表示等により、

作業効率を大幅に改善

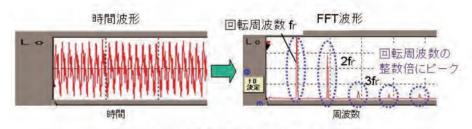
精度の確保: 熟練や経験を必要とせず、精度の高い心出しが可能

記録のデータ管理: 作業記録もパソコンで処理が可能

回転機械のミスアライメント検出と修正

(例) 運転中の振動測定で、回転機のミスアライメントを検出し、その程度を特定することにより、レーザ心出しシステムを活用し、計画的に短期間で修正を行います。





ミスアライメントの周波数領域の特徴

